

西日本地区会 開催



令和2年2月13日、THE TWELFTHにおいて、西日本地区会（代表幹事：幸田好和 / ((株)BCC 相談役)が例会を開催した。参加者は35名。

会は幸田代表幹事の「JISAに九州への関心をもっと高めてもらい、連携を強めていきたい。」という挨拶で開会した。

まず、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア産業戦略企画官 和泉憲明氏から、クラウド化の加速と技術動向、「DX推進指標」の策定とその狙いなどデジタルトランスフォーメーションの推進と政策展開に関する経済産業省の政策について解説があった。

次に、JISA 小脇一朗副会長・専務理事が、最近の業況について解説した後、研修・支援事業、業界プレゼンス向上やグローバル展開など、DX推進のための「人材」「技術」「経営」の「三位一体の革新」に向けたJISAの活動について報告した。

続いて、未来の学び(中学校デジタル化)プロジェクト座長 島田俊夫 JISA 副会長から、同プロジェクトの目標である「日本の中学・高校におけるデジタル技術を活用した高度化」の起点としている青翔開智中学校・高等学校(鳥取市)における活動の報告があった。

休憩を挟んで、元ソフトバンクホークスのエース 攝津正氏による講演「今を生きる～野球人生のターニングポイント～」を行った。攝津氏は、投手として活躍したエース時代からケガに苦しみ、もがいた引退までの現役時代を振り返り、「人は成功体験に依存しがちだが、これからたくさんの人と出会って、チャレンジを続けて新しい自分を築いていきたい。」と語った。



(赤尾)